取M－0074－07

直示式クレーンスケール
ATH－□□
取扱説明書

1. 本書には，ATH-□□を安全にお使いいただくために必要な情報や注意事項が書かれています。ご使用前に必ずお読みください。
2. 本書は，設置後も保守，点検などで使用するために大切に保管してください。

JFE アドバンテック 株式会社

はじめに

本製品は、クレーンやホイストに簡単に取り付けて使用できるはかりで、大型LCD表示を採用し測定値が見易くなっており、以下のような特長があります。

＊　電源には、リチウムイオン充電式バッテリーを使用し、簡単にバッテリーの取替えが可能です。

＊　ATH－□□L型は、ブルートゥース（近距離無線通信規格）ユニットを装備しており、手元操作が可能です。

目　次

1. ご使用上の注意 1
   1.1 用語説明 1
2. ご使用前の準備 4
   2.1 型式一覧 4
   2.2 各部の名称 5
   2.3 スイッチ 6
   2.4 表　示 7
   2.5 エラー表示 7
3. 操作方法（クレーンスケール本体） 8
   3.1 電源の投入 8
   3.2 電源の切り方 8
   3.3 ゼロ調整 9
   3.4 風袋引き 9
   3.5 オートパワーオフ機能 10
   3.6 バッテリー残量表示 10
   3.7 ユーザスペックモード 11
4. 操作方法（手元表示器） 14
   4.1 スイッチ 14
   4.2 表　示 15
   4.3 エラー表示 15
   4.4 スペックモード 16
5. 保守 ・ 点検 17
   5.1 バッテリー交換方法（ATH－05～3） 17
   5.2 バッテリー交換方法（ATH－5～30） 18
   5.3 バッテリー交換方法（手元表示器） 18
   5.4 バッテリー充電方法 19
6. 仕様 20
   6.1 クレーンスケール本体 20
   6.2 手元表示器 20
7. スペックリスト一覧表 21
   7.1 クレーンスケール本体 21
   7.2 手元表示器 21
8. トラブルガイド 22

1. ご使用上の注意

ご使用前にこの「ご使用上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに記載されている注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

1.1 用語説明

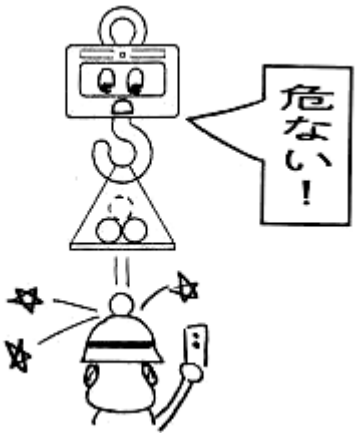
本説では、安全シンボルと用語の説明をします。

警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性が大きいことを意味し、その説明をしています。
注意	誤った取り扱いをしたときに、軽傷や物損事故が発生する可能性があることを意味し、その説明をしています。
参考	誤って使用したために性能が充分に発揮できない、又は故障の原因となりうるなどの可能性が大きいことを意味し、その説明をしています。

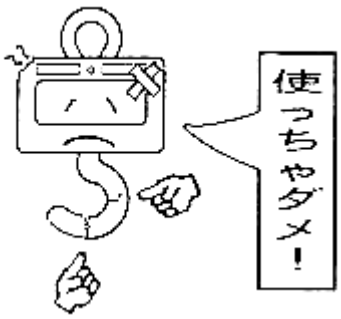
警告

- 重量オーバで使用しないでください。

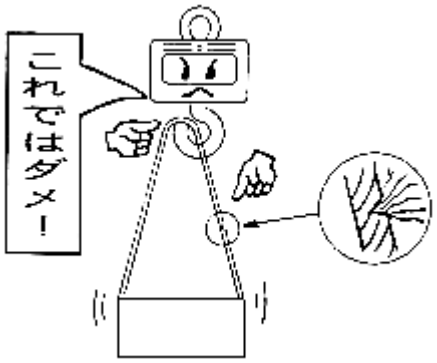
- 計量物の真下には近寄らないでください。



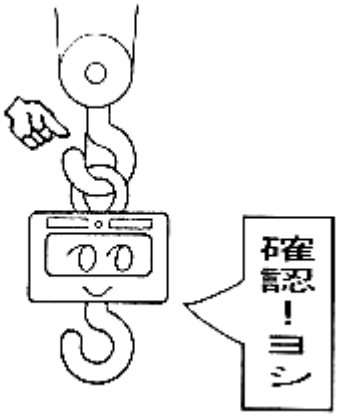
● フック，シャックル，吊金具など損傷，異常が認められた場合には直ちに使用を中止してください。



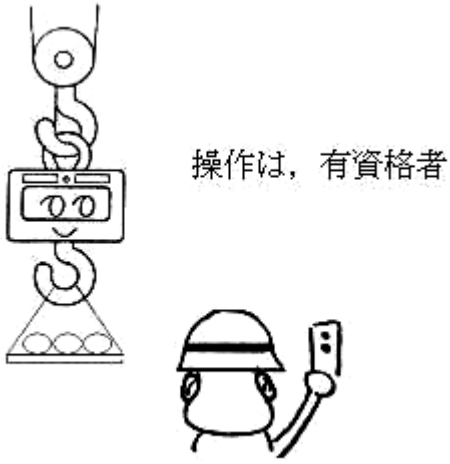
● 点検された吊具を使用し、フックへの装着は確実に行ってください。



● 本機の装着は確実に行ってください。

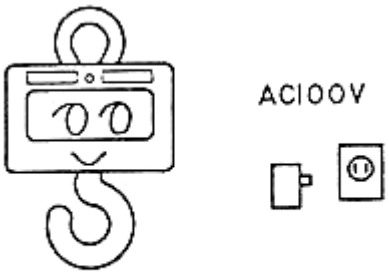


● 玉掛，クレーンの操作は資格者、又はそれに準ずる者が行ってください。

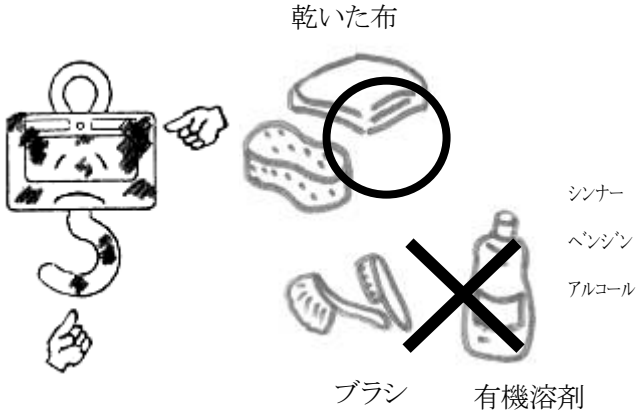


⚠ 注意

● バッテリーは本体から取り外し、充電電源はAC100Vを使用してください。

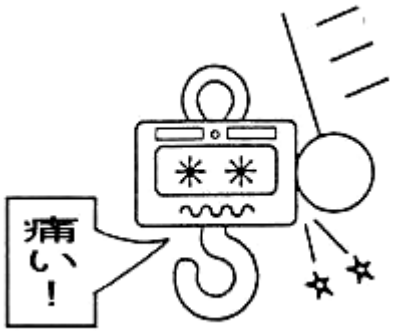


● 汚れがひどくなった時は、乾いた布で拭き取ください。シンナー，ベンジン，アルコール等の有機溶剤のご使用はお避けください。

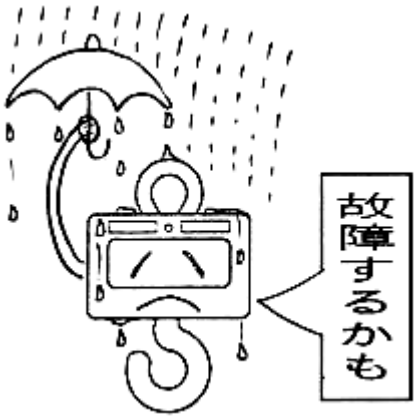


参考

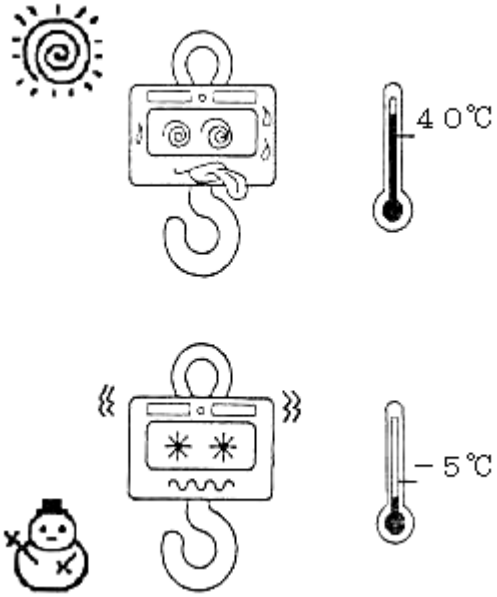
● 落下，衝撃，極度の振動は禁物です。



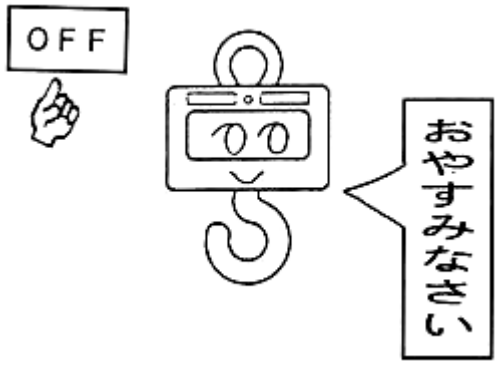
● 雨天時の屋外での使用は避けてください。
（水などはかけないでください）



● 高温，多湿となる所、また極端に低温となる所での使用は避けてください。



● 使用後は、操作部の電源スイッチ【ON/OFF】を押して電源を切ってください。
（常時電源ONの場合、バッテリーを傷め寿命を縮めます）



2. ご使用前の準備

2.1 型式一覧

クレーンスケール
（ATH－05～3）

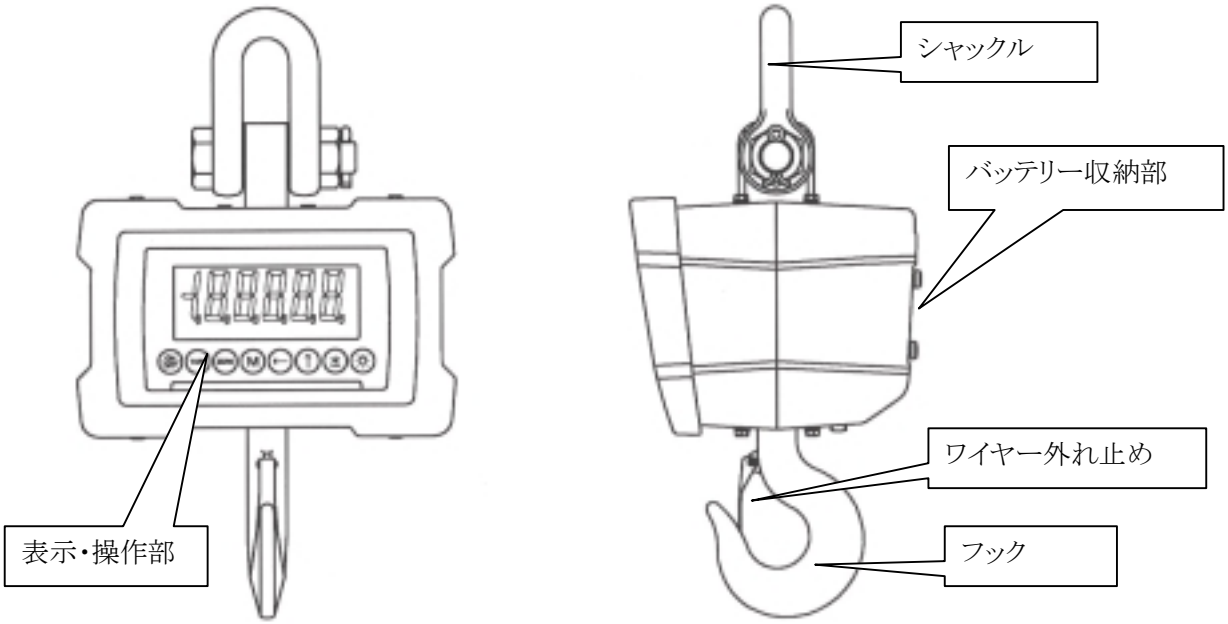
（ATH－5～30）

手元表示器
（ATH－□□L型の付属品）

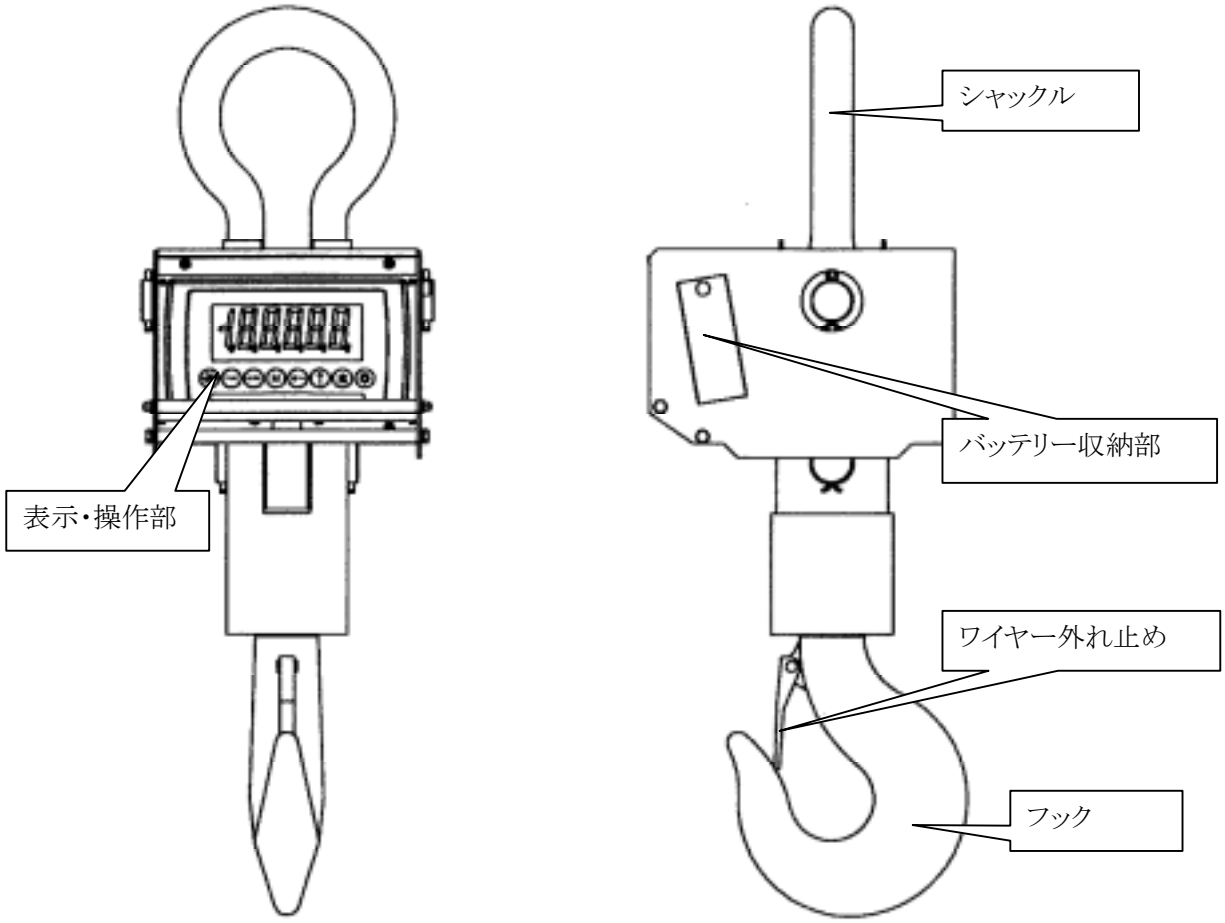
ひょう量	一般用		取引証明用	
	汎用	手元表示器付	汎用	手元表示器付
500kg	ATH－05B	ATH－05BL	ATH－05M	ATH－05ML
1000kg	ATH－1B	ATH－1BL	ATH－1M	ATH－1ML
2000kg	ATH－2B	ATH－2BL	ATH－2M	ATH－2ML
3000kg	ATH－3B	ATH－3BL	ATH－3M	ATH－3ML
5t	ATH－5B	ATH－5BL	ATH－5M	ATH－5ML
10t	ATH－10B	ATH－10BL	ATH－10M	ATH－10ML
20t	ATH－20B	ATH－20BL	ATH－20M	ATH－20ML
30t	ATH－30B	ATH－30BL	－	－

2.2 各部の名称

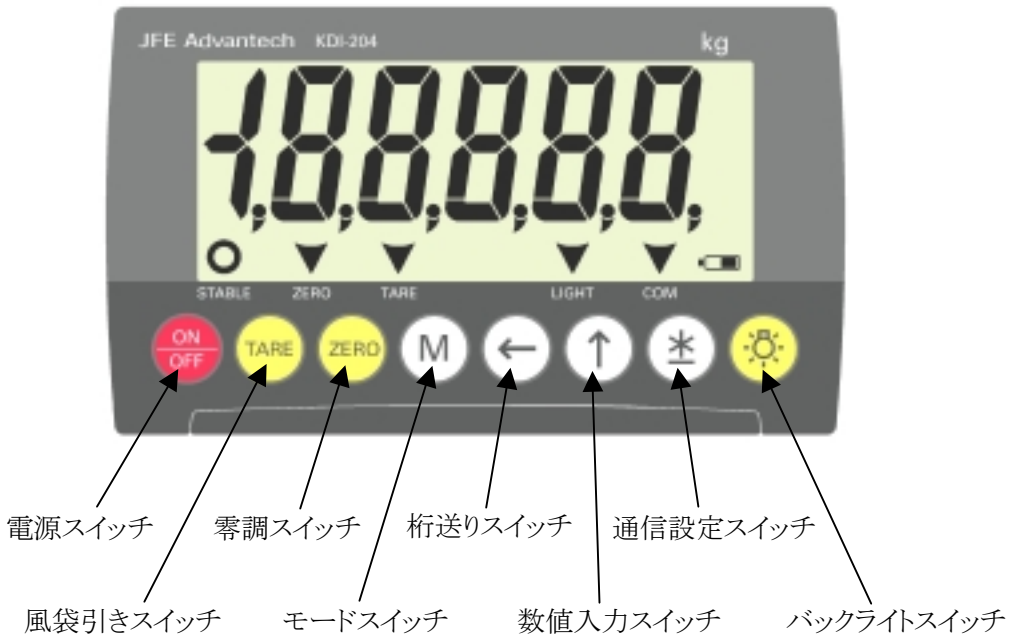
ATH－05～3



ATH－5～30

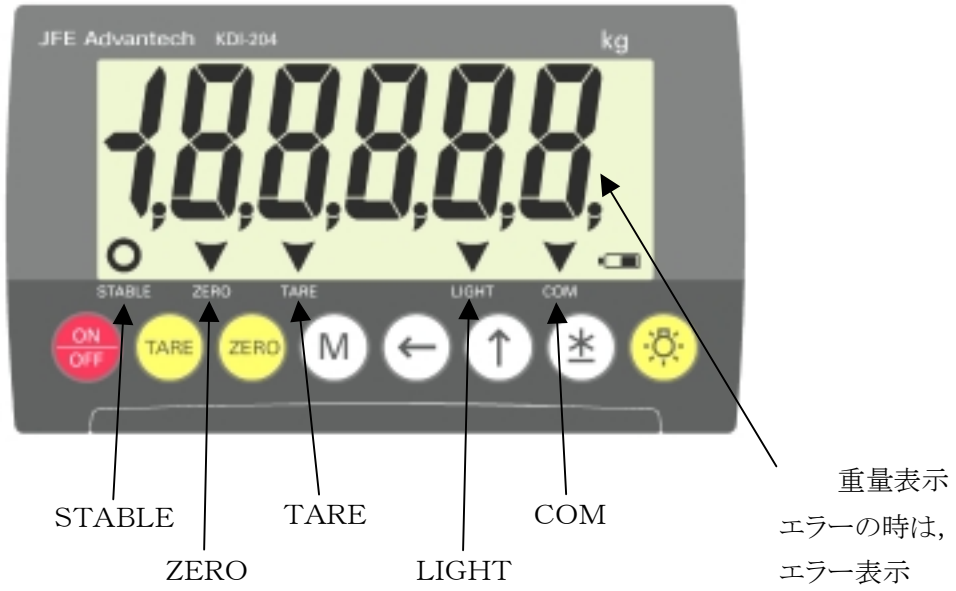


2.3 スイッチ



電源スイッチ	ON OFF	電源のON／OFF操作時に使用します。
風袋引きスイッチ	TARE	風袋引きを行う時、風袋引きを解除する時に使用します。 吊具を吊り、スイッチを押すと表示がゼロになり、吊具に吊った正味重量が計れます。
零調スイッチ	ZERO	計量値をゼロリセットする時に使用します。 何も吊っていない状態で、ゼロ以外を表示している時にスイッチを押すと表示がゼロになります。
モードスイッチ	M	ユーザスペックモード（3．7項参照）に入る時に使用します。
桁送りスイッチ	←	ユーザスペックモードに入り、各設定を行う時の 桁選択に使用します。
数値入力スイッチ	↑	ユーザスペックモードに入り、各設定を行う時の 数値選択に使用します。
通信設定スイッチ	✳	手元表示器との通信を復帰する時に使用します。 通信エラーが出て、通信が停止している時にスイッチを押すと再度、通信をおこないます。
バックライトスイッチ	☼	表示バックライトのON／OFFに使用します。

2.4 表　示



STABLE（ ○ ）	計量値が安定した時に点灯します。(STABLEのみ○ランプ)
ZERO　（ ▼ ）	計量値が　0±1／4目量以内(センタ零)の時に点灯します。
TARE　（ ▼ ）	風袋引き中に点灯します。
LIGHT　（ ▼ ）	バックライト機能作動時に点灯します。
COM　（ ▼ ）	クレーンスケール本体と手元表示器との通信中に点灯します。 手元表示器との通信が行われていない時は、接続待機中となり、 点滅します。接続待機がタイムオーバになると消灯します。

2.5 エラー表示

O F		計量値がひよう量＋(目量×10)を超えると表示限界オーバ(オーバフロー)となり、【　　**OF**】を表示します。
U F		計量値がゼロ(目量×10)を超えると、表示限界オーバ(アンダフロー)となり、【　　**UF**】を表示します。
AdErr		本体内部のADボードとメインボードが通信できない時に【 **AdErr**】を表示します。本体内部のハード(ADボード)が壊れているか、メインボード，ADボードの通信ワイヤーが外れています。

3. 操作方法(クレーンスケール本体)

3.1 電源の投入

3.1.1　電源スイッチ【ON/OFF】を押します。
電源がONになり、右記の様に表示が変化し
計量画面となります。

【－204－】表示

(1)　【－204－】表示

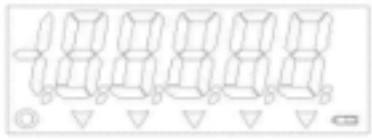
(2)　バージョン【Ur1．0＊】表示
＊＝0～9の数値を表示します。
↓

バージョン表示

(3)　全点灯
↓

全点灯

(4)　全消灯
↓


全消灯

(5)　全桁【88888】表示
↓

全桁【88888】表示

(6)　計量画面となります。
表示が【　0．0】になり安定ランプと
センタ零ランプが点灯します。

安定ランプ　センタ零ランプ

電源投入時にひょう量の約10パーセントを超える荷重が掛かっている場合、表示は【　0．0】にならず、【88888】表示のままになります。この場合荷重を取り除く事で表示が【　0．0】になり安定ランプとセンタ零ランプが点灯します。

3.2 電源の切り方

3.2.1　電源スイッチ【ON/OFF】を押すと、電源が切れます。

ただし、ユーザスペック設定時は、電源を切る事はできません。
【ZERO】スイッチを押して、スペック設定を抜けると電源を切る事ができます。

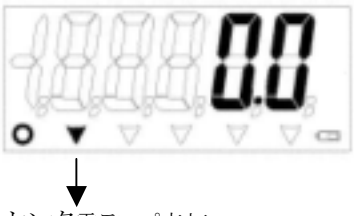
3.3 ゼロ調整

クレーンスケールに何も吊っていないことを確認してください。

全桁 【88888】 表示

3.3.1　零調スイッチ【ZERO】を押します。

3.3.2　計量値が安定検出中は、
全桁 【88888】 表示となります。



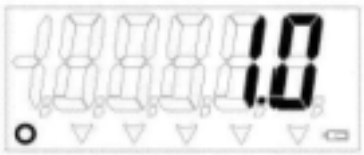
3.3.3　表示が【 0. 0】 になり、センタ零ランプが点灯します。

センタ零ランプ点灯

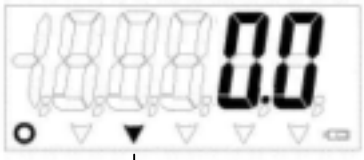
計量値がゼロ調整範囲（ひょう量の約±2%）を超えている場合はゼロ調整ができません。
この場合表示は【 0. 0】にはならず、零調スイッチ【ZERO】を押す前の値を表示します。
ゼロ点調整を行うには一旦電源を再投入することでゼロ調整が可能です。

3.4 風袋引き

クレーンスケールに吊具等の風袋を吊るし、風袋引き
スイッチ【TARE】を押すことにより風袋を登録します。

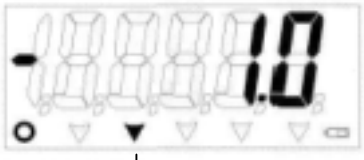


3.4.1　吊具等の風袋を吊るします。（例　1．0kg）
表示が【 1. 0】 になります。



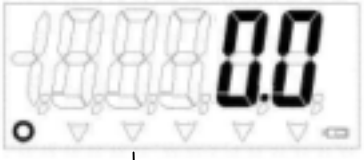
3.4.2　風袋引きスイッチ【TARE】を押すと風袋引き
されます。風袋引き中ランプが点灯します。
表示が【 0. 0】 になります。

風袋引き中ランプ点灯



3.4.3　スケールから風袋をおろします。
風袋を取り除きますと、風袋量分をマイナス表示します。
表示が【－1. 0】 になります。

風袋引き中ランプ点灯



3.4.4　風袋引きを解除する時は、風袋引きスイッチ
【TARE】を押します。
風袋引きが解除されると、風袋引き中ランプが
消灯します。また、表示が【 0. 0】 になります。

風袋引き中ランプが消灯します。

風袋を解除する時は、スケールから風袋を含む全ての計量物を取り除いてから解除してください。
もしそれでも風袋を解除できない場合は、【ZERO】スイッチを押してから【TARE】スイッチを押すを
繰り返してください。

3.5 オートパワーオフ機能

無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能を装備しています。
3分間又は10分間、計量がほぼ平衡を継続している状態、又はキー操作を行わない場合に
自動的に電源が遮断されます。

再び使用する場合には、再度【ON／OFF】スイッチを押してください。
オートパワーオフ機能では、次の操作を行うことにより、表示が切れるまでの時間を
“3分”“10分”“なし”のいずれかに切り替えられるようにできます。

3.5.1 オートパワーオフの時間を“3分”にする場合

(1) 表示が消えている状態で、【ON／OFF】スイッチを3～6秒間押し続けます。
(2) 表示画面に【　　3】と表示されたら【ON／OFF】スイッチを離します。
(3) 上記で3分のオートパワーオフの設定終了です。

3.5.2 オートパワーオフの時間を“10分”にする場合

(1) 表示が消えている状態で、【ON／OFF】スイッチを6～9秒間押し続けます。
(2) 表示画面に【　 10】と表示されたら【ON／OFF】スイッチを離します。
(3) 上記で10分のオートパワーオフの設定終了です。

3.5.3 オートパワーオフの時間を“なし”にする場合（オートパワーオフ解除）

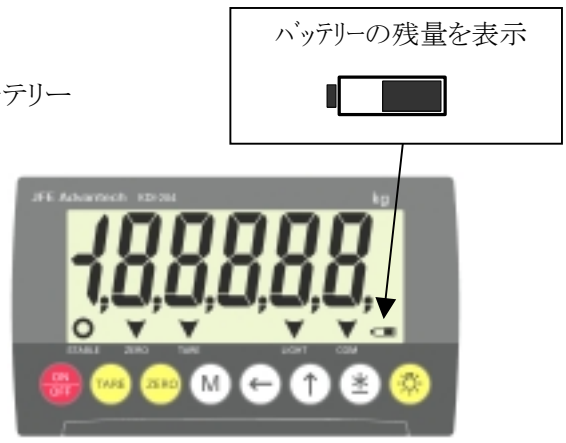
(1) 表示が消えている状態で、【ON／OFF】スイッチを9秒以上押し続けます。
(2) 表示画面に【 999】と表示されたら【ON／OFF】スイッチを離します。
(3) 上記でオートパワーオフが解除されました。

3.6 バッテリー残量表示

バッテリーの残量を表示します。

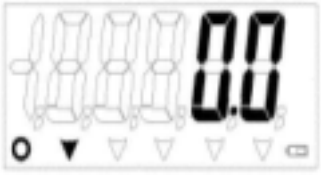
3.6.1 バッテリー残量が減ってくるとバッテリーマークが点灯します。
速やかにバッテリーを交換してください。

3.6.2 バッテリーマーク点灯後、約30分経過すると、バッテリー
残量がなくなり、自動的にパワーオフされます。



3.7 ユーザスペックモード

ユーザスペック設定を行います。



計量モード時の表示

3.7.1　計量モードからモードスイッチ【M】を押します。
ユーザスペックモードに入ります。

スペック番号を表示します。

3.7.2　ユーザスペックモードの操作方法

【←】【↑】:桁送り、数値変更操作に従い、設定値の変更を行います。
【←】は桁上がり、【↑】は数値変更を行います。(0　or　1)
【TARE】:現在表示されているスペックを記憶し、次のスペックへ移行します。
【ZERO】:スペック設定を終了し、計量モードへ戻ります。
:バックライトの ON／OFF を行います。バックライトスイッチが有効であれば、
それ以外の設定によらず機能します。

(1)　ユーザスペック設定モードに入ると、スペック番号と
設定値を交互に切り替えて表示します。

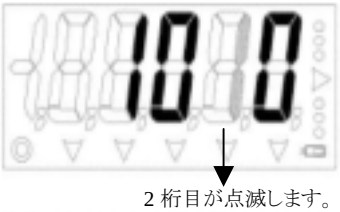
スペック番号を表示します。

(2)　【←】または【↑】を押すと、その時点での
スペック(この例では“スペック00”)の
設定値が表示され、1桁目が点滅します。

(3)　ここで、【←】を押すと、桁が上がり、2桁目が
点滅します。(1, 2, 3, 4, 1, 2, ･･･)

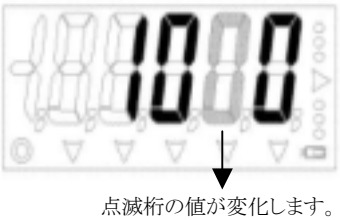
1桁目が点滅します。

(4)　【↑】を押すと、点滅桁の値が変化します。
(0, 1, 0, 1, 0, ････)



2 桁目が点滅します。

(5)　1つのスペック設定が終了し、【TARE】スイッチを
押すと、次のスペックに移行し(1)の状態になります。
USP00　→　USP01　･･･　USP06

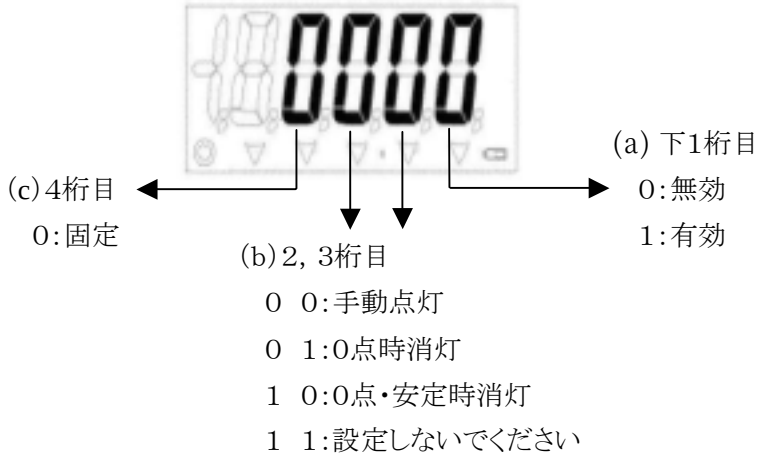


点滅桁の値が変化します。

(6)　【ZERO】スイッチを押すと、通常計量モードに
戻ります。（設定値は記憶されます。）

3.7.3　ユーザスペックの設定内容

(1)　USP00（バックライト機能設定）



(a)　下1桁目

0 ： 無効

他の設定に関係なくバックライトが消灯となります。

1 ： 有効（出荷時設定）

他の設定通り、バックライトが点灯します。

(b)　2，3桁目

00 ： 手動点灯

キーを押すたびに点灯，消灯を繰り返します。

バックライトランプが点灯中は、バックライトは常時点灯します。

01 ： 0点時消灯

消費電力低減のために、表示重量が【　0．0】になって安定した場合、

一定時間経過後（1～2秒）自動的にバックライトが消灯します。

また重量が【　0．0】でなければ再び点灯します。

10 ： 0点・安定時消灯（出荷時設定）

「0点時消灯」機能に加え、表示重量が【　0．0】以外でも重量値が安定

して一定時間経過後（約7～8秒）自動的にバックライトが消灯します。

11 ： 設定禁止

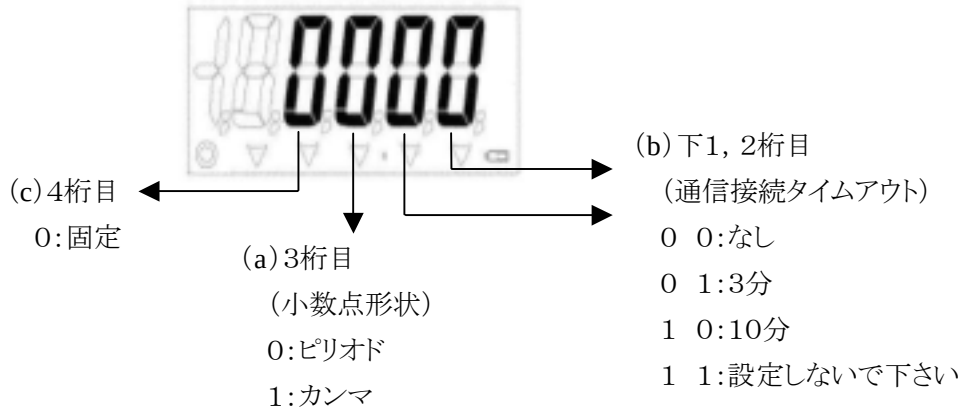
設定しないでください。

(c)　4桁目

0 ： 固定

重量【　0．0】の時、または重量安定時にバックライトが消えてもバックライト機能自体は作動しています。従って、この状態でバックライトスイッチを押すとバックライト機能がOFFになってしまいます。（画面表示のバックライトランプで確認してください。）

⑵ USP01



(a) 3桁目　小数点形状

０ ： ピリオド（出荷時設定）

小数点の形状はピリオドになります。

１ ： カンマ

小数点の形状はカンマになります。

(b) 下1，2桁目　手元表示器との通信接続タイムアウト

００ ： なし（出荷時設定）

０１ ： 3分

１０ ： 10分

１１ ： 設定禁止

(c) 4桁目

０ ： 固定

⑶ USP02～UPS06は、すべて0に設定してください。

手元表示器との接続待機中（COMランプ点滅中）は多くの電力を消費します。そのため、クレーンスケール本体を起動してから、上記の設定時間が経過、または【＊】スイッチを押すと手元表示器からの接続を受け付けなくなります。ただし、上記時間内に手元表示器の接続を行うと、この設定は無効になります。
また、タイムアウトとなり手元表示器からの接続を受け付けない状態になっても、クレーンスケール本体の【＊】スイッチを押すことで、再び接続待機状態となり、手元表示器からの接続が可能となります。この場合、接続タイムアウトのカウントは、“なし”になります。

4. 操作方法(手元表示器)

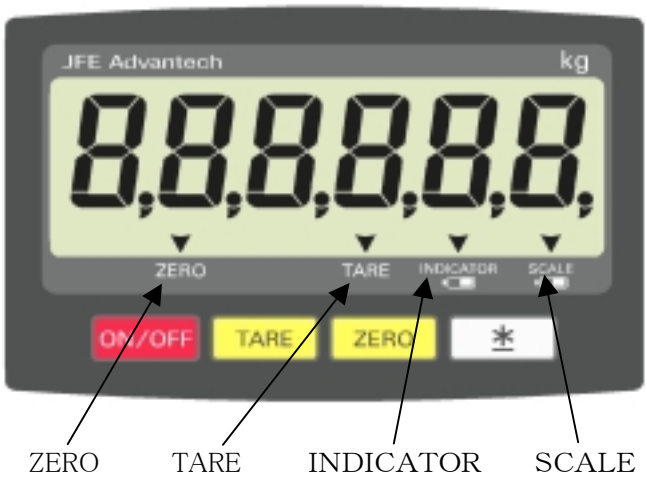
クレーンスケールでは、ブルートゥース(近距離無線通信規格)ユニットを装備し、通信保証距離10m以内において、本体と手元表示器間の通信接続が可能です。クレーンスケール本体で得られた計量値を随時手元表示器に送信します。手元表示器との通信を行うには、クレーンスケール本体と1対1のペアリング設定(工場出荷時に設定済み)が必要です。

4.1 スイッチ

電源スイッチ	ON OFF	手元表示器電源のON／OFF操作時に使用します。 (クレーンスケール本体の電源ON／OFFは、行えません。)
風袋引きスイッチ	TARE	風袋引きを行う時、風袋引きを解除する時に使用します。 吊具を吊り、スイッチを押すと表示がゼロになり吊具に吊った 正味重量が計れます。
零調スイッチ	ZERO	計量値をゼロリセットする時に使用します。 何も吊っていない状態で、ゼロ以外を表示している時にスイッチを押すと 表示がゼロになります。
ホールドスイッチ	✳	ホールド状態(表示保持)の設定，解除を行います。 本体と通信し重量値が安定している場合に手元表示器の重量値をホールドします。(本体の重量値はホールドしません。) なお、ホールド中は風袋引きスイッチ，零調スイッチは無効となります。

※ ホールド機能は、手元表示器の電源投入時に表示されるバージョン1．17以降で対応しています。

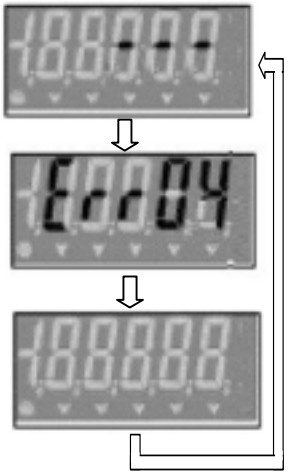
4.2 表　示



ZERO　　（ ▼ ）	計量値がゼロ点範囲にある時に点灯します。
TARE　　（ ▼ ）	風袋引き中に点灯します。
INDICATOR （ ▼ ）	手元表示器のバッテリーが消耗している時に点灯します。
SCALE　　（ ▼ ）	クレーンスケール本体のバッテリーが消耗している時に点灯します。

※　ホールド状態時は、4個の▼表示が全点灯します。

4.3 エラー表示

ＯＦ		計量値がひよう量＋（目量×10）を超えると表示限界オーバ（オーバフロー）となり、【　　**OF**】を表示します。
Ｕ Ｆ		計量値がゼロー（目量×10）を超えると、表示限界オーバ（アンダフロー）となり、【　　**UF**】を表示します。
－－－ と Err04 と 無表示		本体と手元表示器との通信ができない時に【 －－－ 】と【Err04】と【無表示】を繰り返し表示します。 【Err04】は、本体への接続が行えない時に表示します。 エラー状態においても、本体への通信は継続しています。通信がおこなえた時点でエラーを解除し、通常の計量値表示となります。

4.4 スペックモード

4.4.1 スペック設定

手元表示器はスペック設定モードに入る方法が2種類あります。クレーンスケール本体とは操作方法，仕様が異なりますのでご注意ください。

①. クレーンスケール本体との通信が行われている場合

⑴ 【ZERO】を押しながら、【ON／OFF】【ON／OFF】【TARE】を押します。
⑵ 【S0XXXX】と表示されます。
⑶ 【ON／OFF】を押すごとに下記のように設定値が変化します。
【S00000】→【S00001】→【S00010】･･･【S01110】→【S01111】
⑷ 設定が終わったら、【TARE】を押します。（設定を記憶し、次のスペックへ移行します。）
⑸ 【S1XXXX】と表示されます。
⑹ 同じく【TARE】を押すと、【S2XXXX】と表示され、さらに【TARE】を押すと、計量表示となります。また、設定中に【ZERO】を押すことで、スペックモードから抜けることが出来ます。ただし、この場合、設定したスペックは記憶されません。

②. クレーンスケール本体との通信が行われていない場合

⑴ 【ON／OFF】を押して電源を入れます。
⑵ 【TARE】を押し続け、【888888】と表示が出たら離します。
⑶ 【SEArCH】画面になります。
⑷ 【TARE】を2回押すと、【SPEC　　】と表示されます。
⑸ 【＊】を押すと、【S0XXXX】と表示されます。
⑹ 以後の操作は、①の操作と同じです。
⑺ 設定を抜けると、【　－－－】と表示され、クレーンスケール本体との接続を実行します。

4.4.2 スペック説明

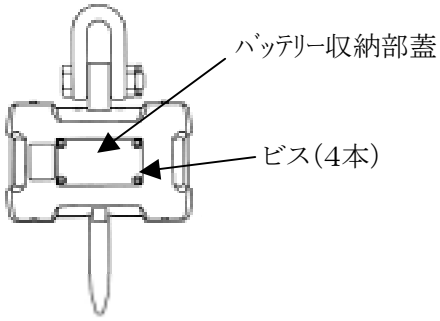
⑴ 【S0XXXX】（オートパワーオフ設定）
下1，2桁目の値によって下記のとおりに設定されます。
00 ： オートパワーオフなし（出荷時設定）
01 ： 3分
10 ： 10分
11 ：設定禁止
※ オートパワーオフ設定は、電源OFFの状態から【ON／OFF】を押すことによっても設定可能です。設定の方法は、本体表示器と同じですので、3．5 オートパワーオフ機能を参照願います。
⑵ 【S1XXXX】（データ送信関連設定）
出荷時設定である0000に設定してください。
⑶ 【S2XXXX】（データ送信関連設定）
出荷時設定である0001に設定してください。

5. 保守 ・ 点検

5.1 バッテリー交換方法（ATH－05～3）

バッテリーは、本体ケース裏面のバッテリー収納部蓋の
内部に収納されています。
交換する時は、下記の手順で行ってください。

5.1.1　バッテリー収納部蓋のネジ(4本)を外す。



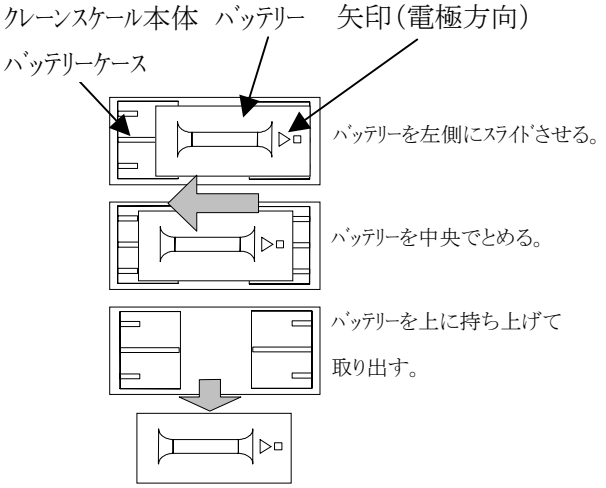
5.1.2　バッテリーをクレーンスケール本体 （バッテリーケース） から取り出す。

バッテリーの矢印(電極方向)を右側とする。

(1)　バッテリーを左側にスライドさせる。

(2)　中央の位置でとめる。

(3)　バッテリーを上に持ち上げて取り出す。



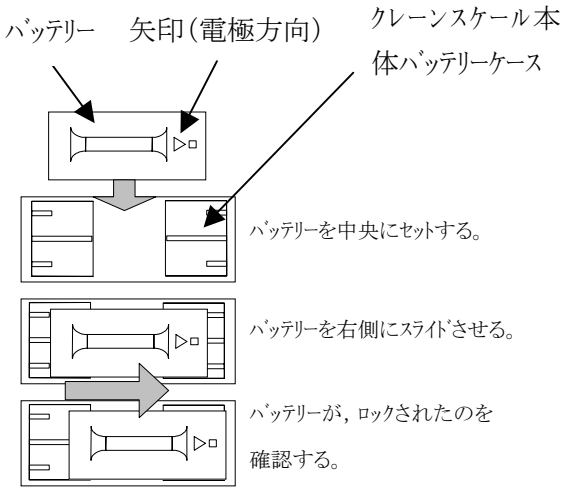
5.1.3　バッテリーをクレーンスケール本体 （ﾊﾞｯﾃﾘｰｹｰｽ） に取り付ける。

バッテリーの矢印(電極方向)を右側とする。

(1)　バッテリーをケース中央にセットする。

(2)　バッテリーを右側にスライドさせる。

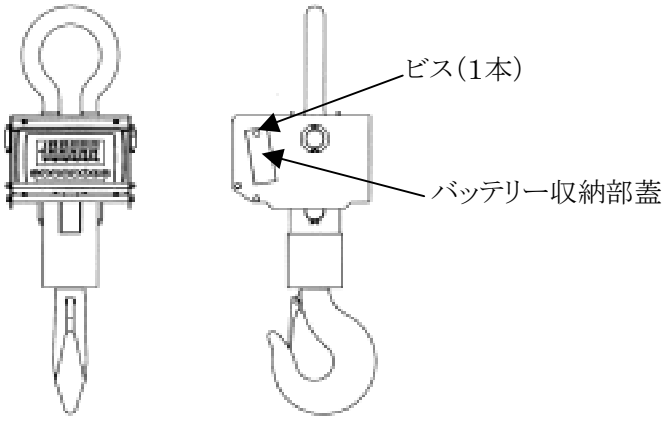
(3)　バッテリーがロックされたのを確認する。



5.1.4　バッテリー収納部蓋を押さえ、ネジ(4本)を閉めます。

5.2 バッテリー交換方法（ATH－5～30）

クレーンスケールのバッテリーは、本体ケース右側面のバッテリー収納部蓋の内部に収納されています。
交換する時は、下記の手順で行ってください。



5.2.1　バッテリー収納部蓋のネジ（1本）を外す。

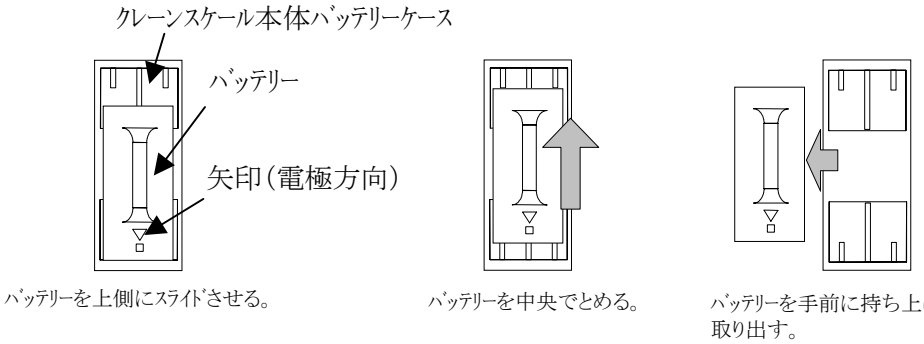
5.2.2　バッテリーをクレーンスケール本体 （バッテリーケース） から取り出す。

バッテリーの矢印（電極方向）を下側とする。

(1)　バッテリーを上側にスライドさせる。

(2)　中央の位置でとめる。

(3)　バッテリーを手前に持ち上げて取り出す。



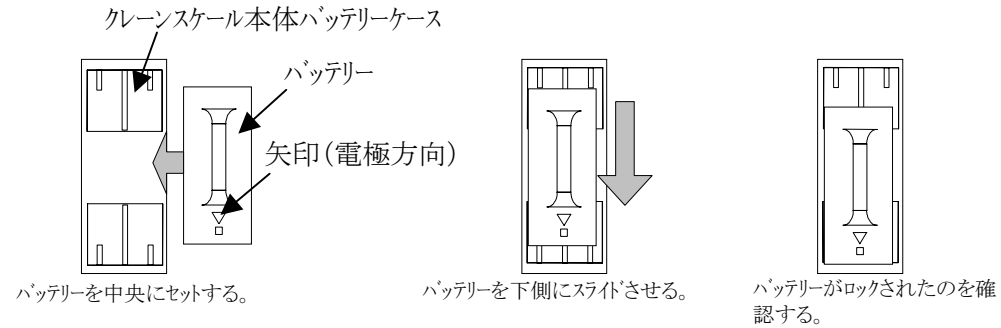
5.2.3　バッテリーをクレーンスケール本体 （バッテリーケース） に取り付ける。

バッテリーの矢印（電極方向）を下側とする。

(1)　バッテリーをケース中央にセットする。

(2)　バッテリーを下側にスライドさせる。

(3)　バッテリーがロックされたのを確認する。



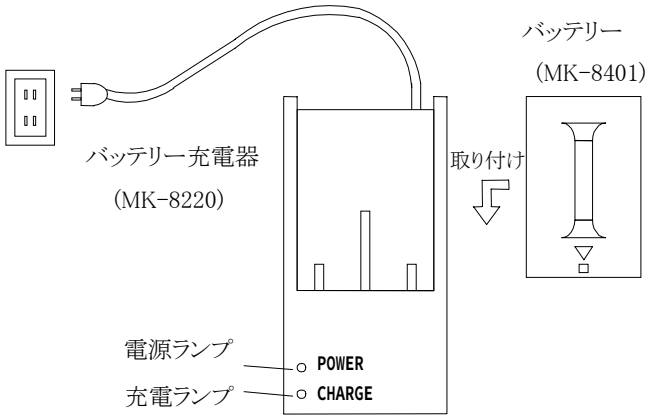
5.2.4　バッテリー収納部蓋を押さえ、ネジ（1本）を閉めます。

5.3 バッテリー交換方法（手元表示器）

手元表示器背面の蓋を外し、アルカリ単3乾電池4個を取り替えてください。

5.4 バッテリー充電方法

バッテリーを専用のバッテリー充電器に取り付け、充電を行います。
充電中は充電ランプが赤く点灯します。充電ランプが消灯すると、充電完了です。



警告

バッテリー充電器は必ず専用品(MK－8220)をお使いください。
専用以外のバッテリー充電器を使用すると、バッテリーが破裂することがあり、火災・けがの原因となります。

- 充電時間(目安)は、約60分で完了します。
- ご購入直後の充電時は、工場出荷からの経過時間によって充電時間が異なります。
- ご購入直後は、一度充電を行ってからご使用ください。
- 充電中は充電ランプが赤く点灯し、充電が完了すると消灯いたします。
- 充電ランプが消灯したらバッテリーを取り外してください。

注意

- 充電は、0℃～35℃で行ってください。極端な低温下や直射日光下で充電を行うと、バッテリーの劣化や液もれの原因となります。
- バッテリーの劣化や液もれを防止するため、本機を使わない場合でも3ヶ月に一度は充電をしてください。
- バッテリーの寿命について
  適正な状態で、約300回の充放電が可能です。正しく充電しても、使用時間が著しく短い場合は、充電池パックの寿命が考えられます。このときは新しくバッテリーをお買い求めください。(バッテリーの寿命の目安は約1年です)

Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力を

日本国内ではリチウムイオン電池のリサイクルが行われています。リチウムイオン電池を廃棄の際には、充電式電池リサイクル協力店へお渡し願います。
なお、弊社でも回収を行なっております。廃棄時は電池電極がショートしないように絶縁テープ等を貼り、本社工場製造部宛へ「廃棄電池」と記載の上送付願います。
尚、送料は使用者負担でお願いします。

6. 仕様

6.1 クレーンスケール本体

項　　目		仕　　様
表示 操作	計量値表示	重量値 LCD, 文字高さ 45mm
	状態表示	安定, センタ零, 風袋引き, バッテリー残量
	操作スイッチ	電源, 零調, 風袋引き, モードスイッチ, バックライト
電源		充電式リチウムイオン電池 （使用可能時間 約50時間以上）＊1
使用条件		温度 -5℃～+40℃ 湿度 45%～85% RH
外形寸法	ATH-05, 1	331(W)×456(H)×251 (D) mm
	ATH-2,3	331(W)×531(H)×251 (D) mm
	ATH-5	287(W)×755(H)×350 (D) mm
	ATH-10	315(W)×980(H)×326 (D) mm
	ATH-20	323(W)×1383(H)×382 (D) mm
	ATH-30	650(W)×1944(H)×382 (D) mm
質量	ATH-05, 1	約14kg
	ATH-2, 3	約19kg
	ATH-5	約62kg
	ATH-10	約75kg
	ATH-20	約184kg
	ATH-30	約480kg

＊1 使用時バックライトOFF、手元表示器を使用しない場合です。

6.2 手元表示器

項　　目		仕　　様
表示 操作	計量値表示	重量値 LCD, 文字高さ 25mm
	状態表示	センタ零, 風袋引き, バッテリー残量
	操作スイッチ	電源, 零調, 風袋引き
電源		アルカリ単3乾電池 4個 （使用可能時間 約100時間以上）
使用条件		温度 -5℃～+40℃ 湿度 45%～85% RH
外形寸法		136(W)×95(H)×37 (D) mm
質量		約0. 4kg

7. スペックリスト一覧表

7.1 クレーンスケール本体

ユーザスペック(USP0X)				
X	Bit3	Bit2	Bit1	Bit0
0	0固定	バックライト点灯方式 00:手動点灯 01:0点時消灯 10:0点・安定時消灯 11:設定禁止		バックライト機能 0:無効 1:有効
1	0固定	小数点形状 0:ピリオド 1:カンマ	接続待機タイムアウト 00:なし 01:3分 10:10分 11:設定禁止	

＊ USP02～USP06は、すべて0に設定してください。

7.2 手元表示器

ユーザスペック(SX)				
X	Bit3	Bit2	Bit1	Bit0
S0	0固定	0固定	オートパワーオフ機能 00:なし 01:3分 10:10分 11:設定禁止	
S1	＊キー押下時の マイナス重量送信 0:無効 1:有効	＊キー押下時の 20デジット未満の データ送信 0:無効 1:有効	ステータス送信 0:無効 1:有効	＊キー押下時の データ送信 0:無効 1:有効
S2	0固定	0固定	0固定	＊キー押下時の ホールド機能 0:無効 1:有効

8. トラブルガイド

故障と思われ、修理をご依頼される前に、次の様な場合は故障ではありませんので、
再度ご確認願います。

症状	原因	対処方法
クレーンスケール本体の電源が入らない。	バッテリーが外れている。	バッテリーがしっかりと装着されているかを確認してください。（5．1，5．2項参照）
	バッテリーの向きが反対。	バッテリーには左右又は上下の方向性があります。正しい方向に取り付けているかを確認してください。（5．1，5．2項参照）
	バッテリー残量がない。	バッテリーの充電を行ってください。（5．3項参照）
手元表示器との通信が行われない。	クレーンスケール本体と手元表示器との距離が離れすぎている。	本製品のブルートゥース通信保証距離は10m以内です。この範囲内でご使用ください。
	クレーンスケール本体と手元表示器との間に遮断物がある。	遮断物のない状態でご使用ください。
	ペアリングが行われていない。	販売店にお尋ねください。
手元表示器の電源が入らない。（Lo-VoLと表示される。）	電池容量が少なくなっている。	手元表示器の背面の蓋を外して、乾電池を交換してください。

保　証　書

1.　設計、製作上の原因による故障が発生した場合、出荷後12ケ月、無償で修理を行なうことを保証します。

2. 保証期間内に無償修理を受けられる場合は、弊社、サービスセンタへ返送いただくことになります。

3. 本保証書は、型式,製造番号,発行日ならびに検査印なきものは無効といたします。

4. 本保証は日本国内においてのみ有効といたします。

型　　式	ATH－	製造番号	
発 行 日	年　　月　　日	検 査 印	
JFE アドバンテック 株式会社			